

学ぶ・活かす・創る 生涯学習が拓く キラめくまち津山

第3次津山市生涯学習推進計画（平成22～26年度）に基づき、だれもが主体的に生涯学習に取り組み、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるように、さらに学びの成果を地域の課題解決やまちづくりに活かす取組や人材の育成など、持続可能な社会・知の循環型社会を構築していきます。

そして、計画の基本目標である豊かな人間性を育む生涯学習社会、ふるさと津山を愛する教育文化都市、未来を拓く共創・協働社会の実現を図ります。

基本的な施策

- ◇ 生涯学習活動の推進
- ◇ 公民館の整備と公民館活動の推進
- ◇ 学社連携・融合の推進
- ◇ 地域課題への取組強化
- ◇ 子育て・家庭教育支援や子ども読書活動、
放課後子どもプランの推進
- ◇ 図書館サービスの向上

(1) 生涯学習活動の推進

平成22年度を初年度とする第3次津山市生涯学習推進計画に基づいた生涯学習の啓発、特色ある各種生涯学習事業、学習情報の提供などの事業を展開していきます。

- ①生涯学習推進懇談会等の推進組織の活性化や広報啓発活動を行います。
- ②生涯学習社会を支える人材の育成や（仮称）生涯学習人材バンクの整備、生涯学習で学んだ成果を社会に活かせるような講座など、特色ある各種生涯学習事業に取り組みます。
- ③生涯学習グループが学習成果を発表し、交流と生涯学習の重要性を啓発する「つやま生涯学習まつり」や生涯学習の成果を子どもにかかわる取組に活かす「津山市子どもまつり」などを開催します。
- ④学習情報を提供するため、学習情報誌「まなびい」の発行や、生涯学習情報提供システムの活用を図ります。

(2) 公民館の整備と公民館活動の推進

住民が生涯学習によって教養を深め自己を高めると同時に、地域住民が交流し学び合う、まちづくりの拠点となる公民館を整備します。また、新たに統合された公民館運営審議会において、全市的な公民館の運営方針やあり方を議論するとともに、各公民館においては、公民館活動推進協議会を設置し、公民館活動の一層の推進を図ります。

- ①加茂町公民館整備事業については、平成22年夏の竣工を目指します。
- ②久米公民館については、早期整備に向けて取り組みます。
- ③公民館運営審議会の意見や、公民館活動推進協議会の支援を得て、公民館活動の推進を図ります。

(3) 学社連携・融合の推進

生涯学習で身に付けた経験や特技を、子どもたちや学校のために活かせる仕組みづくり、地域の教育力によって学校を支援する仕組みづくりを構築し、学社連携・融合の推進を図ります。

- ①学校支援ボランティア制度の広報、登録者の増加、登録者の研修・スキル向上に努めます。
- ②学校支援地域本部事業への取組を推進します。
- ③地域住民が学校への理解・協力を深めることができるような取組を行うとともに、学社連携・融合への理解を図ります。

(4) 地域課題への取組強化

地域の課題に対して、生涯学習の成果を積極的に活かしていく意識啓発や学習の機会拡大、地域づくりにつながる活用等の取組を進めます。

- ①地域の課題解決という目標を見通した学習と活動を公民館主催講座などで促すことにより、また公民館等を拠点とした地域づくり人材育成事業を通じて、住民の意欲を高めて、公民館等を住民と行政を結ぶ地域振興拠点として機能させます。
- ②地域住民のニーズを理解し、「生涯学習リクエスト大学」(※8)の講座メニューを充実させ、生涯学習機会の拡大と活用を図ります。

(5) 子育て・家庭教育支援や子ども読書活動、放課後子どもプランの推進

家庭、地域の教育力向上を図るため、「津山で育ってよかった津山っ子育成アピール」の趣旨を受け、学校教育部門、健全育成部門、こども施策部門と協力して支援に取り組みます。

- ①「つやまっ子家庭教育推進事業」への取組、津山市家庭教育協議会の開催など、家庭の教育力向上に向けた取組を行います。
- ②第2次津山市子ども読書活動推進計画に基づき、子ども読書活動の広報啓発、「つやまっ子読書プラン推進事業」などの各種事業の推進を行います。
- ③放課後子どもプランに基づいた事業を、関係部門と連携して推進します。
- ④子ども会活動の活性化を図り、学校、家庭、地域の密接な連携を図ります。

(6) 図書館サービスの向上

生涯学習社会の醸成に向けて、市民の多様な学習活動を支援するため、図書館資料及び情報の充実、他の図書館との相互利用を図り、地域の情報拠点・学習拠点として、図書館サービスの向上に努めます。

- ①生涯学習社会、高齢社会、情報社会の中で、市立図書館は市民が心豊かで充実した生活ができるよう、資料や情報を収集・提供して市民の多様な要望に応えます。また、互いの学習意欲を刺激し合い、知識を交換する場、ふれあいの場とします。
- ②図書館資料を計画的に整備し、特に子どもの読書活動を推進するため、児童図書の実質を図ります。また郷土資料、行政資料を収集保存して、郷土の英知・文化を再認識する拠点とし、ふるさと津山に根ざした生涯学習の推進を図ります。
- ③図書館運営にあたっては、自動貸出システムの運用などにより幅広く質の高いサービスに努め、ボランティアなど市民参加の促進を図ります。また、学校図書館、教育関係機関と連携し学習振興を推進するとともに、子育て支援コーナーを常設し、子育て力の向上と親子読書推進を図ります。
- ④自動車文庫「ぶっくまる」の運行による、市内全域への移動図書館巡回サービスの充実を図ります。

(※8)「生涯学習リクエスト大学」

津山市が行っている仕事の中で、市民の皆さんが聞きたい、知りたいことを市職員が講師となりお届けする講座。メニューは、自主防災組織、津山洋学、健康づくり、税の話、ごみ減量など市政の各分野にわたる42講座。